

# 授業科目 評価学演習 II

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学
星 孝、押木 利英子、 古沢 アドリアネ 明美、菅原 和広		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60 (中枢神経系：20)
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】					
中枢神経疾患の全体像をよりの確に捉えるために、必要な検査・評価方法を修得する。また事例を使用し、評価項目を検討し口頭で結果の説明ができる。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 姿勢評価の意義を理解し、実施できる</li> <li>2. 動作分析（基本動作）の意義を理解し、実施できる</li> <li>3. 動作分析（応用動作・歩行動作）の意義を理解し、実施できる</li> <li>4. 片麻痺運動機能検査の意義を理解し、実施できる</li> <li>5. 筋トーン検査の意義を理解し、実施できる</li> <li>6. 協調性検査の意義を理解し、実施できる</li> <li>7. バランス検査の意義を理解し、実施できる</li> <li>8. 脳卒中ケース評価視点のひとつに運動耐用能があることを理解する</li> <li>9. クループワークにおいて積極的に取り組める</li> <li>10. 評価を行うためのオリエンテーションが適切に行える</li> <li>11. 疾患の評価に対する討議およびグループ学習をもってまとめをおこない、演習実技試験によって評価を行う</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	姿勢の評価	1, 5, 6, 7, 10	演習 担当：星、担当：星 孝		
2	動作分析（基本動作）	2, 5, 6, 7, 10	演習 担当：星、担当：星 孝		
3	動作分析（応用動作・歩行）	3, 5, 6, 7, 10	演習 担当：星、担当：星 孝		
4	片麻痺運動機能検査	4, 10	演習 担当：星、担当：星 孝		
5	筋トーン検査	5, 10	演習 担当：星、担当：星 孝		
6	協調性検査	6, 7, 10	演習 担当：星、担当：星 孝		
7	軽度脳卒中患者に対する運動負荷的観点からの検査	8, 10	演習 担当：星、担当：星 孝		
8	座位耐性訓練に必要な基本評価	5, 8, 10	演習 担当：星、担当：星 孝		
9	中枢神経疾患の評価に対する討議およびグループ学習（1）	1～11	演習、グループ討議 担当：星、担当：星 孝		
10	中枢神経疾患の評価に対する討議およびグループ学習（2）	1～11	演習、グループ討議 担当：星、担当：星 孝		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		理学療法評価学 テキスト	細田 多穂	南江堂	2010・5,700円＋税
		病気がみえる Vol.7 脳・神経	医療情報科学研究所	株式会社 メディック メディア	2011・3,800円＋税
参考書		診察と手技が見える 1 第2版	古谷 伸之	メディックメディア	2010・6,000円＋税
		ベッドサイド神経の診かた第16版	田崎義昭 他	南山堂	2004・7,560円
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席状況、出席態度、期末試験の総合評価とする		授業出席条件に満たない場合は、該当科目試験の受験は不可			